

Mrk

Chapter 7

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

- 1 καὶ συνάγονται πρὸς αὐτὸν οἱ Φαρισαῖοι καὶ τινες τῶν
そして 集まる ~の-もと-に 彼 (~の) パリサイ人-と また ある-者-たち-が (~の)
[G2532](#) [G4863](#) [G4314](#) [G0846](#) [G3588](#) [G5330](#) [G2532](#) [G5100](#) [G3588](#)
γραμματέων, ἐλθόντες ἀπὸ Ἱεροσολύμων;
律法学者-の 来て ~から エルサレム-から
[G1122](#) [G2064](#) [G0575](#) [G2414](#)

さて、パリサイ人と、ある律法学者たちとが、エルサレムからきて、イエスのもとに集まった。

- 2 καὶ ἰδόντες τινὰς τῶν μαθητῶν αὐτοῦ ὅτι κοιναῖς χερσίν, τοῦτ'
そして 見て ある-者-が (~の) 弟子-たち-の 彼-の (~と) 汚れた 手-で すなわち
[G2532](#) [G3708](#) [G5100](#) [G3588](#) [G3101](#) [G0846](#) [G3754](#) [G2839](#) [G5495](#) [G3778](#)
ἔστιν ἀνίπτοις, ἐσθίουσιν τοὺς ἄρτους,
(~は) 洗わない 食べて-いる-と (~の) パン-を
[G1510](#) [G0449](#) [G2068](#) [G3588](#) [G0740](#)

そして弟子たちのうちに、不浄な手、すなわち洗わない手で、パンを食べている者があるのを見た。

- 3 οἱ γὰρ Φαρισαῖοι καὶ πάντες οἱ Ἰουδαῖοι, ἐὰν μὴ
(~の) なぜなら パリサイ人-と また すべて-の (~の) ユダヤ人-は ~しない-限り ~ない
[G3588](#) [G1063](#) [G5330](#) [G2532](#) [G3956](#) [G3588](#) [G2453](#) [G1437](#) [G3361](#)
πυγμῆ νίψονται τὰς χεῖρας, οὐκ ἐσθίουσιν, κρατοῦντες τὴν παράδοσιν
こぶし-で 洗わ-ない-限り (~の) 手-を ~ない 食べ-ない 守って (~の) 言い伝え-を
[G4435](#) [G3538](#) [G3588](#) [G5495](#) [G3756](#) [G2068](#) [G2902](#) [G3588](#) [G3862](#)
τῶν πρεσβυτέρων;
(~の) 長老-たち-の
[G3588](#) [G4245](#)

もともと、パリサイ人をはじめユダヤ人はみな、昔の人の言伝えをかたく守って、念入りに手を洗ってからでないと、食事をしない。

- 4 καὶ ἀπ' ἀγορᾶς, ἐὰν μὴ βαπτίσωνται οὐκ ἐσθίουσιν; καὶ
また ~から 市場-から ~しない-限り ~ない 身-を-洗わ-ない-限り ~ない 食べ-ない また
[G2532](#) [G0575](#) [G0058](#) [G1437](#) [G3361](#) [G0907](#) [G3756](#) [G2068](#) [G2532](#)
ἄλλα πολλά ἐστιν ἃ παρέλαβον κρατεῖν, βαπτισμοὺς ποτηρίων
ほか-の 多く-の-こと-が ある (~の) 受け-継いで 守る-こと-を 洗い-を 杯-の
[G0243](#) [G4183](#) [G1510](#) [G3739](#) [G3880](#) [G2902](#) [G0909](#) [G4221](#)
καὶ ξυστῶν καὶ χαλκίων «καὶ κλινῶν».
また 水差し-の また 銅器-の また 寝台-の
[G2532](#) [G3582](#) [G2532](#) [G5473](#) [G2532](#) [G2825](#)

また市場から帰ったときには、身を清めてからでないと、食事をせず、なおそのほかにも、杯、鉢、銅器を洗うことなど、昔から受けついでかたく守っている事が、たくさんあった。

5 καὶ ἐπερωτῶσιν αὐτὸν οἱ Φαρισαῖοι καὶ οἱ γραμματεῖς, Διὰ τί
 そして 尋ねる 彼-に (~の) パリサイ人-と また (~の) 律法学者-たちが なぜ (~か)
[G2532](#) [G1905](#) [G0846](#) [G3588](#) [G5330](#) [G2532](#) [G3588](#) [G1122](#) [G1223](#) [G5101](#)

οὐ περιπατοῦσιν οἱ μαθηταὶ σου κατὰ τὴν παράδοσιν τῶν
 ~ない 歩ま-ない-のか (~の) 弟子-たち-は あなた-の ~に-従って (~の) 言い伝え-に (~の)
[G3756](#) [G4043](#) [G3588](#) [G3101](#) [G4771](#) [G2596](#) [G3588](#) [G3862](#) [G3588](#)

πρεσβυτέρων, ἀλλὰ κοιναῖς χερσὶν ἐσθίουσιν τὸν ἄρτον?
 長老-たち-の むしろ 汚れた 手-で 食べて-いる (~の) パン-を
[G4245](#) [G0235](#) [G2839](#) [G5495](#) [G2068](#) [G3588](#) [G0740](#)

そこで、パリサイ人と律法学者たちとは、イエスに尋ねた、「なぜ、あなたの弟子たちは、昔の人の言伝えに従って歩まないで、不浄な手でパンを食べるのですか」。

6 ὁ δὲ εἶπεν αὐτοῖς, Καλῶς ἐπροφήτευσεν Ἰσαΐας περὶ ὑμῶν
 (~の) しかし 言った 彼ら-に 見事-に 預言した イザヤ-が ~について あなたがた-の
[G3588](#) [G1161](#) [G3004](#) [G0846](#) [G2573](#) [G4395](#) [G2268](#) [G4012](#) [G4771](#)

τῶν ὑποκριτῶν, ὡς γέγραπτα, ὅτι Οὗτος ὁ λαὸς τοῖς χεῖλεσίν
 (~の) 偽善者-たち ~のように 書かれて-いる (~と) この (~の) 民-は (~の) 唇-で
[G3588](#) [G5273](#) [G5613](#) [G1125](#) [G3754](#) [G3778](#) [G3588](#) [G2992](#) [G3588](#) [G5491](#)

με τιμᾶ, ἡ δὲ καρδία αὐτῶν πόρρω ἀπέχει ἀπ' ἐμοῦ.
 わたし-を 敬う (~の) しかし 心-は 彼ら-の 遠く 離れて-いる ~から わたし-から
[G1473](#) [G5091](#) [G3588](#) [G1161](#) [G2588](#) [G0846](#) [G4206](#) [G0568](#) [G0575](#) [G1473](#)

イエスは言われた、「イザヤは、あなたがた偽善者について、こう書いているが、それは適切な預言である、『この民は、口さきではわたしを敬うが、その心はわたしから遠く離れている。』」

7 μάτην δὲ σέβονται με, διδάσκοντες διδασκαλίας ἐντάλματα ἀνθρώπων.
 むなしく しかし 崇めて-いる わたし-を 教えて 教え-として 戒め-を 人-の
[G3155](#) [G1161](#) [G4576](#) [G1473](#) [G1321](#) [G1319](#) [G1778](#) [G0444](#)

人間のいましめを教として教え、無意味にわたしを拝んでいる』」。

8 ἀφέντες τὴν ἐντολὴν τοῦ Θεοῦ, κραεῖτε τὴν παράδοσιν τῶν ἀνθρώπων,
 捨てて (~の) 戒め-を (~の) 神-の 守って-いる (~の) 言い伝え-を (~の) 人-の
[G0863](#) [G3588](#) [G1785](#) [G3588](#) [G2316](#) [G2902](#) [G3588](#) [G3862](#) [G3588](#) [G0444](#)

<βαπτισμοὺς ξεστῶν καὶ ποτηρίων, καὶ ἄλλα παρόμοια τοιαῦτα
 洗い-を 水差し-の また 杯-の また ほか-の 似た-ような このような
[G0909](#) [G3582](#) [G2532](#) [G4221](#) [G2532](#) [G0243](#) [G3946](#) [G5108](#)

πολλὰ ποιεῖτε>.
 多く-の-こと-を して-いる
[G4183](#) [G4160](#)

あなたがたは、神のいましめをさしおいて、人間の言伝えを固執している」。

9 καὶ ἔλεγεν αὐτοῖς, Καλῶς ἀθετεῖτε τὴν ἐντολὴν τοῦ Θεοῦ, ἵνα
 そして 言った 彼ら-に 見事-に 退けて-いる (~の) 戒め-を (~の) 神-の ~する-ために
[G2532](#) [G3004](#) [G0846](#) [G2573](#) [G0114](#) [G3588](#) [G1785](#) [G3588](#) [G2316](#) [G2443](#)

τὴν παράδοσιν ὑμῶν τηρήσητε.
 (~の) 言い伝え-を あなたがた-の 守ろう-と
[G3588](#) [G3862](#) [G4771](#) [G5083](#)

また、言われた、「あなたがたは、自分たちの言伝えを守るために、よくも神のいましめを捨てたものだ。」

10 Μωϋσῆς γὰρ εἶπεν, Τίμα τὸν πατέρα σου καὶ τὴν μητέρα
 モーセ-は なぜなら 言った 敬え (~の) 父-を あなた-の また (~の) 母-を
[G3475](#) [G1063](#) [G3004](#) [G5091](#) [G3588](#) [G3962](#) [G4771](#) [G2532](#) [G3588](#) [G3384](#)

σου; καί, Ὅ κακολογῶν πατέρα ἢ μητέρα θανάτῳ
 あなた-の また (~する) 悪く-言う-者-は 父-を あるいは 母-を 死-によって
[G4771](#) [G2532](#) [G3588](#) [G2551](#) [G3962](#) [G2228](#) [G3384](#) [G2288](#)

τελευτάτῳ.
 死ぬ-べきである
[G5053](#)

モーセは言ったではないか、『父と母とを敬え』、また『父または母をののしる者は、必ず死に定められる』と。

11 ὑμεῖς δὲ λέγετε, Ἐὰν εἴπη ἄνθρωπος τῷ πατρὶ ἢ τῇ
 しかし あなたがた-は しかし 言う ~したら 人-が 言う-なら (~の) 父-に あるいは
[G4771](#) [G1161](#) [G3004](#) [G1437](#) [G3004](#) [G0444](#) [G3588](#) [G3962](#) [G2228](#) [G3588](#)

μητρὶ, Κορβᾶν, ὃ ἐστίν, Δῶρον, ὃ ἐὰν ἐξ ἐμοῦ ὠφελῆθῃς--
 (~の) 母-に コルバン それ-は ~である 供え物 (~の) ~したら ~から わたし-から
[G3384](#) [G2878](#) [G3739](#) [G1510](#) [G1435](#) [G3739](#) [G1437](#) [G1537](#) [G1473](#) [G5623](#)

それなのに、あなたがたは、もし人が父または母にむかって、あなたに差上げるはずのこのものはコルバン、すなわち、供え物ですと言えば、それでよいとして、

12 οὐκέτι ἀφίετε αὐτὸν οὐδὲν ποιῆσαι τῷ πατρὶ ἢ τῇ μητρὶ,
 もはや 許さ-ない 彼-に 何-も する-ことを (~の) 父-に あるいは (~の) 母-に
[G3765](#) [G0863](#) [G0846](#) [G3762](#) [G4160](#) [G3588](#) [G3962](#) [G2228](#) [G3588](#) [G3384](#)

その人は父母に対して、もう何もしないで済むのだと言っている。

13 ἀκυροῦντες τὸν λόγον τοῦ Θεοῦ τῇ παραδόσει ὑμῶν ἢ
 無効に-して (~の) 御言葉-を (~の) 神-の (~の) 言い伝え-によって あなたがた-の (~の)
[G0208](#) [G3588](#) [G3056](#) [G3588](#) [G2316](#) [G3588](#) [G3862](#) [G4771](#) [G3739](#)

παρεδώκατε. καὶ παρόμοια τοιαῦτα πολλὰ ποιεῖτε.
 伝えた また 似た-ような このような 多く-の-こと-を して-いる
[G3860](#) [G2532](#) [G3946](#) [G5108](#) [G4183](#) [G4160](#)

こうしてあなたがたは、自分たちが受けついで言伝えによって、神の言を無にしている。また、このような事をしばしばおこなっている」。

14 Καὶ προσκαλεσάμενος πάλιν τὸν ὄχλον, ἔλεγεν αὐτοῖς, Ἀκούσατέ
 そして 呼び寄せて 再び (~の) 群衆-を 言った 彼ら-に 聞きなさい
[G2532](#) [G4341](#) [G3825](#) [G3588](#) [G3793](#) [G3004](#) [G0846](#) [G0191](#)

μου, πάντες, καὶ σύνετε:
 わたし-の-ことを すべて-の-者よ そして 理解しなさい
[G1473](#) [G3956](#) [G2532](#) [G4920](#)

それから、イエスは再び群衆を呼び寄せて言われた、「あなたがたはみんな、わたしの言うことを聞いて悟るがよい。

- 15 οὐδέν ἐστιν ἔξωθεν τοῦ ἀνθρώπου εἰσπορευόμενον εἰς αὐτὸν, ὃ
 何-も ~ない ~の外-から (~の) 人-の 入って-来る-もの-が ~の中-へ 彼-の (~の)
[G3762](#) [G1510](#) [G1855](#) [G3588](#) [G0444](#) [G1531](#) [G1519](#) [G0846](#) [G3739](#)
- δύναται κοινῶσαι αὐτόν; ἀλλὰ τὰ ἐκ τοῦ ἀνθρώπου ἐκπορευόμενά,
 ~できない 汚す-ことは 彼-を むしろ (~の) ~から (~の) 人-から 出-て-来-る-もの-が
[G1410](#) [G2840](#) [G0846](#) [G0235](#) [G3588](#) [G1537](#) [G3588](#) [G0444](#) [G1607](#)
- ἐστιν τὰ κοινοῦντα τὸν ἄνθρωπον.
 ~である (~の) 汚す-もの-が (~の) 人-を
[G1510](#) [G3588](#) [G2840](#) [G3588](#) [G0444](#)

すべて外から人の中にはいって、人をけがしうるものはない。かえって、人の中から出てくるものが、人をけがすのである。〔

- 16 <Εἰ τις ἔχει ὦτα ἀκούειν, ἀκουέτω>.
 もし 誰-か-が 持つ 耳-を 聞く-ための 聞きなさい
[G1487](#) [G5100](#) [G2192](#) [G3775](#) [G0191](#) [G0191](#)

聞く耳のある者は聞くがよい〕〕。

- 17 Καὶ ὅτε εἰσῆλθεν εἰς οἶκον ἀπὸ τοῦ ὄχλου, ἐπηρώτων
 そして ~した-とき 入った ~の中-に 家-に ~から (~の) 群衆-から-離れて 尋ねた
[G2532](#) [G3753](#) [G1525](#) [G1519](#) [G3624](#) [G0575](#) [G3588](#) [G3793](#) [G1905](#)
- αὐτὸν οἱ μαθηταὶ αὐτοῦ τὴν παραβολήν.
 彼-に (~の) 弟子-たち-が 彼-の (~の) たとえ-を
[G0846](#) [G3588](#) [G3101](#) [G0846](#) [G3588](#) [G3850](#)

イエスが群衆を離れて家にはいられると、弟子たちはこの譬について尋ねた。

- 18 καὶ λέγει αὐτοῖς, Οὕτως καὶ ὑμεῖς ἀσύνετοί ἐστε? οὐ
 すると 言う 彼ら-に このように ~も-また あなたがた-も 理解がない ~です-か ~ない
[G2532](#) [G3004](#) [G0846](#) [G3779](#) [G2532](#) [G4771](#) [G0801](#) [G1510](#) [G3756](#)
- νοεῖτε ὅτι πᾶν τὸ ἔξωθεν εἰσπορευόμενον εἰς τὸν
 わから-ない-のか (~と) すべて-の (~の) 外-から 入-て-来-る-もの-が ~の中-に (~の)
[G3539](#) [G3754](#) [G3956](#) [G3588](#) [G1855](#) [G1531](#) [G1519](#) [G3588](#)
- ἄνθρωπον, οὐ δύναται αὐτὸν κοινῶσαι?
 人-の ~ない ~できない 彼-を 汚す-ことは
[G0444](#) [G3756](#) [G1410](#) [G0846](#) [G2840](#)

すると、言われた、「あなたがたも、そんなに鈍いのか。すべて、外から人の中にはいって来るものは、人を汚し得ないことが、わからないのか。

- 19 ὅτι οὐκ εἰσπορεύεται αὐτοῦ εἰς τὴν καρδίαν, ἀλλ' εἰς τὴν
 なぜなら ~ない 入ら-ない 彼-の ~の中-に (~の) 心-に むしろ ~の中-に (~の)
[G3754](#) [G3756](#) [G1531](#) [G0846](#) [G1519](#) [G3588](#) [G2588](#) [G0235](#) [G1519](#) [G3588](#)
- κοιλίαν, καὶ εἰς τὸν ἀφεδρῶνα ἐκπορεύεται. καθαρῶν πάντα
 腹-に そして ~の中-へ (~の) 便所-へ 出-て-行-く 清める-もの-として すべて-の
[G2836](#) [G2532](#) [G1519](#) [G3588](#) [G0856](#) [G1607](#) [G2511](#) [G3956](#)
- τὰ βρώματα.
 (~の) 食べ物-を
[G3588](#) [G1033](#)

それは人の心の中にはいるのではなく、腹の中にはいり、そして、外に出て行くだけである」。イエスはこのように、どんな食物でもきよいものとされた。

20 ἔλεγεν δὲ, ὅτι τὸ ἐκ τοῦ ἀνθρώπου ἐκπορευόμενον, ἐκεῖνο κοινοῖ
 言った しかし (~と) (~の) ~から (~の) 人-から 出て-来る-もの-が それ-が 汚す
[G3004](#) [G1161](#) [G3754](#) [G3588](#) [G1537](#) [G3588](#) [G0444](#) [G1607](#) [G1565](#) [G2840](#)

τὸν ἄνθρωπον.
 (~の) 人-を
[G3588](#) [G0444](#)

さらに言われた、「人から出て来るもの、それが人をけがすのである。

21 ἔσωθεν γὰρ ἐκ τῆς καρδίας τῶν ἀνθρώπων οἱ διαλογισμοὶ οἱ
 内-から なぜなら ~から (~の) 心-から (~の) 人-の (~の) 思い-が (~の)
[G2081](#) [G1063](#) [G1537](#) [G3588](#) [G2588](#) [G3588](#) [G0444](#) [G3588](#) [G1261](#) [G3588](#)

κακοὶ ἐκπορεύονται, πορνεῖαι, κλοπαί, φόνοι, μοιχεῖαι,
 悪い 出て-来る 淫行 盗み 殺人 姦淫
[G2556](#) [G1607](#) [G4202](#) [G2829](#) [G5408](#) [G3430](#)

すなわち内部から、人の心の中から、悪い思いが出て来る。不品行、盗み、殺人、

22 πλεονεξία, πονηρία, δόλος, ἀσέλγεια, ὀφθαλμὸς, πονηρός, βλασφημία,
 貪欲 悪意 欺き 放縦 目 妬む 冒瀆
[G4124](#) [G4189](#) [G1388](#) [G0766](#) [G3788](#) [G4190](#) [G0988](#)

ὑπερηφάνια, ἀφροσύνη.
 傲慢 愚かさ
[G5243](#) [G0877](#)

姦淫、貪欲、邪悪、欺き、好色、妬み、誹り、高慢、愚痴。

23 πάντα ταῦτα τὰ πονηρὰ ἔσωθεν ἐκπορεύεται, καὶ κοινοῖ τὸν
 すべて-の これら-の (~の) 悪い-もの-は 内-から 出て-来る そして 汚す (~の)
[G3956](#) [G3778](#) [G3588](#) [G4190](#) [G2081](#) [G1607](#) [G2532](#) [G2840](#) [G3588](#)

ἄνθρωπον.
 人-を
[G0444](#)

これらの悪はすべて内部から出てきて、人をけがすのである」。

24 Ἐκεῖθεν δὲ ἀναστὰς, ἀπῆλθεν εἰς τὰ ὄρια Τύρου (καὶ
 そこ-から しかし 立ち上がって 去った ~の-中-へ (~の) 地域-に ツロ-の (また)
[G1564](#) [G1161](#) [G0450](#) [G0565](#) [G1519](#) [G3588](#) [G3725](#) [G5184](#) [G2532](#)

Σιδῶνος). Καὶ εἰσελθὼν εἰς οἰκίαν, οὐδένα ἤθελεν γνῶναι,
 シドン-の そして 入って ~の-中-に 家-に 誰-にも 望ま-なかった 知られる-ことを
[G4605](#) [G2532](#) [G1525](#) [G1519](#) [G3614](#) [G3762](#) [G2309](#) [G1097](#)

καὶ οὐκ ἠδυνήθη λαθεῖν.
 しかし ~なかった ~でき-なかった 隠れる-ことが
[G2532](#) [G3756](#) [G1410](#) [G2990](#)

さて、イエスは、そこを立ち去って、ツロの地方に行かれた。そして、だれにも知れないように、家の中にはいられたが、隠れていることができなかった。

25 ἀλλ' εὐθὺς ἀκούσασα γυνὴ περὶ αὐτοῦ, ἣς εἶχεν τὸ
 しかし すぐに 聞いて 女-が ~について 彼-の-こと-を 彼女-の 持って-いた (~の)
[G0235](#) [G2112](#) [G0191](#) [G1135](#) [G4012](#) [G0846](#) [G3739](#) [G2192](#) [G3588](#)

θυγάτριον αὐτῆς πνεῦμα ἀκάθαρτον, ἐλθοῦσα, προσέπεσεν πρὸς τοὺς
 小さな娘-が 彼女-の 霊-を 汚れた 来て ひれ伏した ~の-もと-に (~の)
[G2365](#) [G0846](#) [G4151](#) [G0169](#) [G2064](#) [G4363](#) [G4314](#) [G3588](#)

πόδας αὐτοῦ,
 足-に 彼-の
[G4228](#) [G0846](#)

そして、けがれた霊につかれた幼い娘をもつ女が、イエスのことをすぐ聞きつけてきて、その足もとにひれ伏した。

26 ἡ δὲ γυνὴ ἦν Ἑλληνίς, Συροφονίκισσα τῷ γένει, καὶ
 (~の) しかし 女-は いた ギリシャ人-で シロ・フェニキヤ人 (~の) 生まれ-の そして
[G3588](#) [G1161](#) [G1135](#) [G1510](#) [G1674](#) [G4949](#) [G3588](#) [G1085](#) [G2532](#)

ἠρώτα αὐτὸν ἵνα τὸ δαιμόνιον ἐκβάλῃ ἐκ τῆς θυγατρὸς
 願った 彼-に ~する-ように (~の) 悪霊-を 追い出す-ように ~から (~の) 娘-から
[G2065](#) [G0846](#) [G2443](#) [G3588](#) [G1140](#) [G1544](#) [G1537](#) [G3588](#) [G2364](#)

αὐτῆς.
 彼女-の
[G0846](#)

この女はギリシャ人で、スロ・フェニキヤの生れであった。そして、娘から悪霊を追い出してくださいとお願いした。

27 καὶ ἔλεγεν αὐτῇ, Ἄφες πρῶτον χορτασθῆναι τὰ τέκνα; οὐ
 すると 言った 彼女-に まず 最初-に 満たされる-ように (~の) 子ども-たち-が ~ない
[G2532](#) [G3004](#) [G0846](#) [G0863](#) [G4412](#) [G5526](#) [G3588](#) [G5043](#) [G3756](#)

γάρ ἐστιν καλὸν λαβεῖν τὸν ἄρτον τῶν τέκνων, καὶ τοῖς
 なぜなら 良く-ない 良く-ない 取って (~の) パン-を (~の) 子ども-たち-の そして (~の)
[G1063](#) [G1510](#) [G2570](#) [G2983](#) [G3588](#) [G0740](#) [G3588](#) [G5043](#) [G2532](#) [G3588](#)

κουαρίους βαλεῖν.
 小犬-に 投げる-ことは
[G2952](#) [G0906](#)

イエスは女に言われた、「まず子供たちに十分食べさすべきである。子供たちのパンを取って小犬に投げてやるのは、よろしくない」。

28 ἡ δὲ ἀπεκρίθη καὶ λέγει αὐτῷ, Ἰναί, Κύριε; καὶ τὰ κυνάρια
 (~の) しかし 答えて そして 言う 彼-に そうです 主-よ しかし (~の) 小犬-たち-も
[G3588](#) [G1161](#) [G0611](#) [G2532](#) [G3004](#) [G0846](#) [G3483](#) [G2962](#) [G2532](#) [G3588](#) [G2952](#)

ὑποκάτω τῆς τραπέζης ἐσθίουσιν ἀπὸ τῶν ψιχίων τῶν παιδίων.
 ~の-下-で (~の) 食卓-の 食べる ~から (~の) パン-くず-を (~の) 子ども-たち-の
[G5270](#) [G3588](#) [G5132](#) [G2068](#) [G0575](#) [G3588](#) [G5589](#) [G3588](#) [G3813](#)

すると、女は答えて言った、「主よ、お言葉どおりです。でも、食卓の下にいる小犬も、子供たちのパンくずは、いただきます」。

29 καὶ εἶπεν αὐτῇ, Διὰ τοῦτον τὸν λόγον, ὕπαγε; ἐξελήλυθεν ἐκ
 すると 言った 彼女-に ~の-ゆえに この (~の) 言葉-の 行きなさい 出て-行った ~から
[G2532](#) [G3004](#) [G0846](#) [G1223](#) [G3778](#) [G3588](#) [G3056](#) [G5217](#) [G1831](#) [G1537](#)

τῆς θυγατρὸς σου τὸ δαιμόνιον.
 (~の) 娘-から あなた-の (~の) 悪霊-は
[G3588](#) [G2364](#) [G4771](#) [G3588](#) [G1140](#)

そこでイエスは言われた、「その言葉で、じゅうぶんである。お帰りなさい。悪霊は娘から出てしまった」。

30 καὶ ἀπελθοῦσα εἰς τὸν οἶκον αὐτῆς, εὔρεν τὸ παιδίον
すると 帰って ~の-中-に (~の) 家-に 彼女-の 見つけた (~の) 子ども-が
[G2532](#) [G0565](#) [G1519](#) [G3588](#) [G3624](#) [G0846](#) [G2147](#) [G3588](#) [G3813](#)
βεβλημένον ἐπὶ τὴν κλίνην, καὶ τὸ δαιμόνιον ἐξεληλυθός.
横たわって-いる ~の-上-に (~の) 寝台-に そして (~の) 悪霊-は 出て-行って-いた
[G0906](#) [G1909](#) [G3588](#) [G2825](#) [G2532](#) [G3588](#) [G1140](#) [G1831](#)

そこで、女が家に帰ってみると、その子は床の上に寝ており、悪霊は出てしまっていた。

31 Καὶ πάλιν ἐξελθὼν ἐκ τῶν ὀρίων Τύρου, ἦλθεν διὰ
そして 再び 出て ~から (~の) 地域-から ツロ-の 来た ~を-通って
[G2532](#) [G3825](#) [G1831](#) [G1537](#) [G3588](#) [G3725](#) [G5184](#) [G2064](#) [G1223](#)
Σιδῶνος, εἰς τὴν θάλασσαν τῆς Γαλιλαίας, ἀνὰ μέσον τῶν
シドン-を-通って ~の-方-へ (~の) 海-に (~の) ガリラヤ-の ~の-中-を 真ん中-を (~の)
[G4605](#) [G1519](#) [G3588](#) [G2281](#) [G3588](#) [G1056](#) [G0303](#) [G3319](#) [G3588](#)
ὀρίων Δεκαπόλεως.
地域-の デカポリス-の
[G3725](#) [G1179](#)

それから、イエスはまたツロの地方を去り、シドンを経てデカポリス地方を通りぬけ、ガリラヤの海べにこられた。

32 Καὶ φέρουσιν αὐτῷ κωφὸν καὶ μογιῶλον, καὶ παρακαλοῦσιν
そして 連れて-来る 彼-に 耳の-聞こえない-者-を また どもりがち-の そして 懇願する
[G2532](#) [G5342](#) [G0846](#) [G2974](#) [G2532](#) [G3424](#) [G2532](#) [G3870](#)
αὐτὸν ἵνα ἐπιθῆ αὐτῷ τὴν χεῖρα.
彼-に ~する-ように 置く-ように 彼-の-上-に (~の) 手-を
[G0846](#) [G2443](#) [G2007](#) [G0846](#) [G3588](#) [G5495](#)

すると人々は、耳が聞えず口のきけない人を、みもとに連れてきて、手を置いてやっていただきたいとお願ひした。

33 καὶ ἀπολαβόμενος αὐτὸν ἀπὸ τοῦ ὄχλου κατ' ἰδίαν,
そして 連れ出して 彼-を ~から (~の) 群衆-から-離れて ~の-ところ-に ひそか-に
[G2532](#) [G0618](#) [G0846](#) [G0575](#) [G3588](#) [G3793](#) [G2596](#) [G2398](#)
ἔβαλεν τοὺς δακτύλους αὐτοῦ εἰς τὰ ὦτα αὐτοῦ, καὶ πτύσας,
入れた (~の) 指-を 彼-の ~の-中-に (~の) 耳-に 彼-の そして 唐を-つけて
[G0906](#) [G3588](#) [G1147](#) [G0846](#) [G1519](#) [G3588](#) [G3775](#) [G0846](#) [G2532](#) [G4429](#)
ἤψατο τῆς γλώσσης αὐτοῦ,
触った (~の) 舌-に 彼-の
[G0680](#) [G3588](#) [G1100](#) [G0846](#)

そこで、イエスは彼ひとりを群衆の中から連れ出し、その両耳に指をさし入れ、それから、つばきでその舌を潤し、

34 καὶ ἀναβλέψας εἰς τὸν οὐρανὸν ἐστέναξεν, καὶ λέγει αὐτῷ, Ἐφαθά,
そして 見上げて ~の-方-へ (~の) 天-を 嘆いた そして 言う 彼-に エファタ
[G2532](#) [G0308](#) [G1519](#) [G3588](#) [G3772](#) [G4727](#) [G2532](#) [G3004](#) [G0846](#) [G2188](#)
ὃ ἐστίν, Διανοίχθητι.
それ-は ~である 開け
[G3739](#) [G1510](#) [G1272](#)

天を仰いでため息をつき、その人に「エパタ」と言われた。これは「開けよ」という意味である。

35 καὶ «ἠνοιήσαν αὐτοῦ αἰ ἀκοαί, καὶ» Π εὐθὺς ἐλύθη ὁ δεσμός τῆς
 すると 開いた 彼-の (〜の) 耳-が そして すぐに 解けた (〜の) 束縛-が (〜の)
[G2532](#) [G0455](#) [G0846](#) [G3588](#) [G0189](#) [G2532](#) [G2112](#) [G3089](#) [G3588](#) [G1199](#) [G3588](#)

γλώσσης αὐτοῦ, καὶ ἐλάλει ὀρθῶς.
 舌-の 彼-の そして 話した 正しく
[G1100](#) [G0846](#) [G2532](#) [G2980](#) [G3723](#)

すると彼の耳が開け、その舌のもつれもすぐ解けて、はっきりと話すようになった。

36 καὶ διεστείλατο αὐτοῖς ἵνα μηδενὶ λέγωσιν. ὅσον δὲ
 そして 命じた 彼ら-に ~する-ように 誰-にも 言わない-ように けれども しかし
[G2532](#) [G1291](#) [G0846](#) [G2443](#) [G3367](#) [G3004](#) [G3745](#) [G1161](#)

αὐτοῖς διεστέλλετο αὐτοῖ, μᾶλλον περισσότερον ἐκήρυσσον.
 彼ら-に 命じれば-命じる-ほど 彼ら-は いっそう ますます 宣べ-伝えた
[G0846](#) [G1291](#) [G0846](#) [G3123](#) [G4053](#) [G2784](#)

イエスは、この事をだれにも言うてはならぬと、人々に口止めをされたが、口止めをすればするほど、かえって、ますます言いひろめた。

37 καὶ ὑπερπερισσῶς ἐξεπλήσσοντο, λέγοντες, Καλῶς πάντα πεποίηκεν: καὶ
 そして この-上-なく 驚いた 言って 見事-に すべて-を して-くださった ~も
[G2532](#) [G5249](#) [G1605](#) [G3004](#) [G2573](#) [G3956](#) [G4160](#) [G2532](#)

τοὺς κωφοὺς ποιεῖ ἀκούειν, καὶ [τοὺς]
 (〜の) 耳-の-聞こえない-者-を 聞こえる-ように-し 聞こえる-ように また (〜の)
[G3588](#) [G2974](#) [G4160](#) [G0191](#) [G2532](#) [G3588](#)

ἀλάλους λαλεῖν.
 口の-きけない-者-を 話す-ように-した
[G0216](#) [G2980](#)

彼らは、ひとかたならず驚いて言った、「このかたのなされた事は、何もかも、すばらしい。耳の聞こえない者を聞えるようにしてやり、口のきけない者をきけるようにしておやりになった」。